

第 81 回大阪市中心企業対策審議会議事録

日時：平成 18 年 3 月 23 日(木) 午後 2 時 30 分～4 時 30 分

場所：大阪キャッスルホテル 6 階 「鳳凰」

出席者：

(審議会) 石川委員、石原委員、叶迫委員、亀坂委員、志水委員、新堂委員、高橋委員、東海委員、古田委員、古林委員、細見委員、和田委員

(本市) 柏木助役、葛本経済局長、中村企画部長、東産業振興部長、中野新産業施策担当部長、奥野企業支援担当部長、島田工業研究所所長、
経済局各幹事

補職名は会議開催日現在

議事

○平成 18 年度経済局主要事業等について、事務局より説明。

○今後の施策の進め方について意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

〔施策全般に関する意見〕

- ・国がビジョンなどを出した場合には、大阪市としても、そのビジョンに対する考え方、方向性をもっておく必要がある。
- ・事業を進めていくにあたっては、総花的にならないように、中心となるものを決め、一年単位での目標を持って、事業展開のプランニングをしていかなければならない。

〔大阪の強みに関する意見〕

- ・大阪は、外から見ると、商業資本やコミュニケーション力、表現力といったものが強みであると思うが、そうした大阪にしかないようなものを顕在化して、産業レベルにまで持っていけないか。例えば、USJ についても、大阪の強みを生かして、エンターテインメントというサービスとして商品化していくなど、サービス産業を一つの柱として、サービスの振興、輸出などに取り組んでいってもらいたい。
- ・あらゆる分野で、大阪市に來ないと必要なものが手に入らないような環境を作りだし、大阪に人を集めることが重要である。
- ・小学校の頃から、英語や IT などについて、エリートを養成していくような教育制度を大阪でつくれば、将来的には、ビジネスなど様々な分野で、大阪を中心とした結びつきが生まれてくるのではないか。

- ・これまで大阪商人が努力してつくりあげてきた大阪の歴史を思い起こして、もう一度大阪が、中小企業のまちとして元気を取り戻せるよう、頑張っていきたい。

〔新産業の創出に関する意見〕

- ・ロボット産業育成については、技術だけではなく、マーケットを創出するため、経済や経営を専門とする有識者などを集めて、ビジネスプランを検討していった欲しい。

〔中小企業の支援に関する意見〕

- ・やる気のある中小企業を支援するため、証券化などの取り組みについて、成果をあげていってもらいたい。
- ・中小企業の経営者の心情や現状をしっかりと把握したうえで、中小企業支援に取り組んでいった欲しい。
- ・新規創業だけではなく、企業再生も重要であり、中小企業にやる気を取り戻してもらうために、金融面などから支援していくことが大事である。

〔商業の活性化に関する意見〕

- ・「まちづくり三法」の見直しを受けて、大阪市においても、コンパクトなまちづくりが求められてきており、今後、立地問題が大きな課題となってくるのではないかと。小型商業施設の乱立も心配される。
- ・ロボットを、商店街の売り出しに利用できればおもしろいのではないかと。
- ・小売商業実態調査は、地域としても、小売市場や商店街周辺の活性化方策の再検討を行うよい機会となる。

〔調査事業に関する意見〕

- ・調査目的を明確にして、成果物やその活用方法についても見通すような形で、調査を進めていった欲しい。
- ・調査結果のデータは、専門分野の学識者にとって、非常に魅力的なものになると思うので、データを提供するかわりに、結果に関する専門的な意見をもらうという形で、学識者と共同研究していけばよいのではないかと。
- ・時代に即したスピード感を持って、短期間で、調査から施策へと反映していったもらいたい。